学校番号	3010

令和5年度 工業（プロダクトデザイン） 科

教科	工業	科目	プロダクト造形実習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、プロダクトデザインについて理解し、実習を通じて造形活動の知識と技術を学び、それぞれの素材の特性や機能を理解し作品を制作します。 個人での制作が基本となりますが、課題によってはグループでの制作も行います。 プレゼンテーションを行い、自らの発信力を高めます。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

皮や木材、紙材といった素材の特性を理解し、それを生かした作品制作を行う。幼児を対象としたプロダクト製品のデザインや制作を行う。それぞれの知識技術を身に着け、今後のデザイン企画や作品制作活動に活用することを目標とする。 ・

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野におけるアイデアの展開方法、道具の使い方や名称、素材の加工方法など基礎的、基本的な知識、技能、実践的思考法を身に着けて今後の制作活動に役立てる。	素材加工・道具の使用方法を身に着け、制作においてより良い方法を判断できる。またそれらの技術を適切に活用し、自分の考えを作品にて表現できる力を養う。	プロダクトデザイン分野に関する技術向上を目指して自ら学び、広い視野を身に着け、工業技術の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	アイデア展開	・アイデアの出し方 ・発想法について ・アイデアの展開	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況 プレゼンテーション
2	造形実習	・皮を使ったおもちゃの制作 ・髪を使った作品制作 ・金属を使った作品制作	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況 プレゼンテーション
3	プレゼンテーション・鑑賞	・プレゼンテーション ・工芸高校展での作品展示	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	学習状況の観察 作品 課題の提出状況 プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度